

# 2017 年度 グローバル・コミュニケーション・プログラム(GCP) 募集要項

募集期間	募集プログラム	派遣期間
2016 秋 semester 11/16 (水)~12/21 (水)	<b>Global Communication Program</b> (St. Edward's University, Austin, TX, USA)	2017/6/3(土) ~ 7/29(土)



立命館アジア太平洋大学  
アカデミック・オフィス  
第 1 版  
(2016 年 11 月)



## Global Communication Program (GCP) とは

### 科目概要と授業の特色について

Global Communication Program (GCP)は、1)APU で行われる事前・事後授業、2)現地で行われる言語及び異文化理解等を深める各授業、3)サービスマーケティング実習体験(ボランティア、ソーシャルワーク等)を組み合わせたカリキュラムで、コミュニケーション力・多文化理解力の形成・強化を目指し、APU での専門科目の学修へと繋げるプログラムであり、APU の正課科目として実施されます。

このプログラムはセント・エドワーズ大学 (SEU) との共同で企画運営されます。この貴重な機会を、みなさんの成長の一助として、最大限に活かしてください。

[APU] 事前授業



#### [現地授業]

**言語学習:** Public Speaking、Critical Thinking といったコミュニケーション力強化に必要な科目を中心に総合的英語運用能力の向上を図ります。

**異文化理解学習:** アメリカの多文化・多民族社会について学びながら、異文化理解・異文化コミュニケーション力を培います。

**サービスマーケティング実習:** 担当教員の指定した学外の各種団体・施設にて週 1-2 回ボランティア活動を体験します。



[APU] 事後授業

### \*\* APU と SEU のパートナーシップ \*\*

セント・エドワーズ大学 (SEU) はアメリカ・テキサス州オースティン市にあり、特にリベラルアーツと呼ばれる教養教育・人間教育で高い評価を受けている大学です。国籍、文化・社会的背景、年齢、宗教等の異なる多種多様な学生を受け入れ、海外学習プログラムも多数行っています。APU と SEU は大学の理念や規模等という点だけでなく、国際的な教育を積極的に推進している点においても、大きく共通しています。APU と SEU は 2007 年より学生・教職員の交流を進めてきました。それぞれの大学の教育の特徴・強みを活かした協働教育を開発・展開しており、GCP のほか交換留学等様々な派遣・受入プログラムを行っています。

### 科目名称 / 単位 / 成績について

「募集プログラムとスケジュール」で確認してください。

### 履修登録および単位授与時期について

- 当該科目は、海外実習が終了するセメスターの科目として大学が登録します。
- 当該科目の単位は、履修登録上限単位数の上限内に含まれます。

## 募集概要

### 募集プログラム

以下のプログラムで参加者を募集します。派遣先大学の情報やプログラム概要については、P.8 の「募集プログラムとスケジュール」で確認してください。

名称	Global Communication Program (GCP)	
派遣時期	2017/6/3(土) ~ 7/29(土)	
募集時期	2016 秋 semester: 2016/11/16(水)~12/21(水)	
派遣先大学	St. Edward's University	
現地担当 オフィス	Global Engagement Office (GEO)	
大学情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1877 年創立</li> <li>・ 学生数(学部、大学院): 約 5,000 人</li> <li>・ 学部数: 18</li> <li>・ Best Colleges Rankings - Regional Universities West 部門 14 位 (2016)  <a href="https://www.stedwards.edu/">https://www.stedwards.edu/</a></li> </ul>	
国、地域に関する情報	国/州/都市	米国テキサス州オースティン (テキサス州の州都)
	人口:	88.5 万人 (2013 年)
	主要産業:	IT、ナノテクノロジー、バイオテクノロジーなど
		
授業内容	英語 Public Speaking 計 48 時間	公の場における英語の自己表現能力、コミュニケーション能力の向上を目指す。スピーチ、パネルディスカッション、プレゼンテーションなどを行い、録画ビデオで個別フィードバック等によるスキルの向上。
	英語 Critical Thinking 計 24 時間	批判的思考を理解し、高めるためのリーディングとライティングの授業。リーディング教材を分析し、論理的に小論文を書く訓練を通じて、批判的思考や多角的視野を養成する。
	異文化理解 Multicultural Society in US(A) 計 24 時間	様々な角度からアメリカの多文化社会を洞察し、アメリカ社会に対する社会的知見を深めるとともに、多角的な視野を養っていくことを目的としている。講義で得た知識を基に、様々なテーマにてディスカッションを行い、問題を掘り下げ、分析し、多文化社会に対する視野を広げていく。
	異文化理解 Multicultural Society in US(B) 計 24 時間	
	ボランティア研究 Service Learning 計 37 時間	アメリカにおけるサービスマーケティングの基礎知識を学んだ後、地元オースティン市のコミュニティにて、グループに分かれ、毎週ボランティア活動を行う。クラスでは体験のシェアリングや発表も行われ、サービスマーケティングの意義を一人一人が経験を通じて追及する。
授業外の アクティビティ etc.	現地企業見学	現地法人の日系企業を訪問し、企業内の見学に加え、そこで働く日本人スタッフの方との交流も実施
	Go for Launch	SEU/NASA 主催イベント: NASA の元宇宙飛行士の講義を聞くほか、地元高校生らとグループになって、宇宙をテーマとする課題に取り組むワークショップ
	Welcome to Japan	GCP 参加学生のみで企画立案し、プログラムの最終週に学内外からゲストを招待して、オリジナルの「日本」を紹介するイベント

## 申請要件

- ・ P.9 の「申請条件」欄を確認してください。

## 申請方法

各設定期間中に、以下 **2 つの Step** を行ってください。

### Step 1: 2016 / 11 / 16 (水) ~ 12 / 21(水) 16:30

指定のウェブサイトから申請してください。ウェブサイトはアカデミック・オフィス HP 上に公開します。

- ・ ウェブ申請のプロセスで、以下が必要になります。予め準備の上、申請してください。
  1. パスポートの顔写真ページ、顔写真のアップロード
  2. 志望理由や将来のキャリアビジョンに関するエッセイ

### Step 2: 2016 / 11 / 16 (水) ~2017 / 1 / 13(金) 16:30

以下書類をアカデミック・オフィス内に設置しているポストに投函してください。

- ・ 誓約書: 学生本人、及び保証人 **両者の直筆署名**が必要です。
- ・ 有効な TOEFL スコアのコピー

## 募集ガイダンス日程

Global Communication Program	1 回目 2016 年 11 月 16 日(水) (第 4 限/場所 F111)
	2 回目 2016 年 12 月 2 日(金) (第 3 限/場所 F111)
	3 回目 2016 年 12 月 5 日(月) (第 3 限/場所 F111)
	4 回目 2016 年 12 月 6 日(火) (第 5 限/場所 F111)

## 選考方法

志望理由書を重視した、書類審査、面接審査、英語力審査等による総合的な選考を行います。

## 選考期間

以下の日程で面接を実施します。詳細は申請締切り後に「あなた宛の重要なお知らせ」にて連絡しますので、必ず予定を空けておいてください。面接に無断で欠席した場合、参加意思が無いものと見なします。

Global Communication Program	2017 年 1 月 10 日(火)~1 月 13 日(金) (予定)
------------------------------	-------------------------------------

## 合否発表

Global Communication Program	2017 年 1 月 17 日(火) (予定) - 「あなた宛の重要なお知らせ」にて通知
------------------------------	--

---

## 参加条件

---

### 1. 経費

#### プログラム費

- ・ プログラム参加には規定のプログラム費を支払う必要があります。P.10「費用」欄を参照してください。
- ・ 最終的なプログラムに要する費用(円建て)は、2017 年 4 月中旬頃お知らせします。
- ・ プログラムに要する費用の支払い期限は、2017 年 5 月上旬頃を予定しています。詳しい日程は受講者決定後に行われる受講者ガイダンスにてお知らせします。
- ・ 奨学金が支給される場合も、一旦、支払い期限までにプログラム費の全額を支払う必要があります。支払いに関する詳細は合格発表後に行う「受講者ガイダンス」、または「あなた宛の重要なお知らせ」を通じてお伝えします。

#### 保険

個人で既に参加している場合も、APU が指定する海外旅行保険、JCSOS 危機管理システム(J-TAS)への加入が必要です。保険加入に関する詳細は、受講者ガイダンスで説明します。

## 2. 参加者において必要な手続き等

### 航空券・渡航

- ・ 航空券の予約・購入は、参加者決定後、渡航スケジュールに合わせてオフィスが行います。
- ・ 現地集合、現地解散、フライト・スケジュールの変更をすることはできません。

### 査証(ビザ)

日本国籍の学生は、ビザは必要ありませんが、事前の入国申請(ESTA)の申請が必要です。その他の国籍の学生は、各自でビザが必要かどうか確認してください。また、ビザが取得できなかった場合のキャンセルに関しては、特別な配慮等できません。

【国際学生のみ】プログラム実施国のビザ以外に、日本の在留許可期限及び再入国許可の期限も確認してください。在留許可期限の更新・再入国許可について分からないことがあれば、スチューデント・オフィスで確認してください。

ESTA 取得・ガイダンスのスケジュールは以下の通りです。

Global Communication Program	2017 年 4 月 19 日(水) 予定
------------------------------	-----------------------

### 予防接種

受講者ガイダンスにて、APU ヘルスクリニックが推奨する予防接種の種類、推奨レベルを案内します。予防接種は必須ではありませんので、推奨レベル等の情報に基づき、接種するかどうか各自判断してください。接種を希望する場合は、各自ヘルスクリニックで受診の手続きを行ってください。

## 3. 免責事項・注意事項

### 海外実習時における注意事項

- ・ 本プログラムの実習期間中に、プログラムの当事者(APU、派遣先大学、現地機関)以外の第三者(組織、個人、ホームステイ先等)による不法行為が原因で本人に事故や損害が生じた場合、本人が訴訟、それに関わる対応等の責任を負わなければなりません。プログラム当事者(APU、派遣先大学、現地機関)はその責任を負いません。

### プログラムの中止や内容の変更

- ・ 参加者の健康や安全を第一に優先するため、実習で天災・災害・ストライキ・伝染病・政治情勢の変化・戦争・テロ、不可抗力に起因する事態が発生した場合やその他受け入れ先大学の事情等によりプログラムの中止や内容の変更を行う場合があります。また、引率教員や職員の判断に基づき、参加者のプログラム参加許可が取り消されたりする場合があります。プログラムの中止や内容が変更になる可能性も念頭においた上で、無理のない履修計画を行ってください。

### プログラム参加決定後(最終選考結果発表後)の辞退について

- ・ プログラム参加者決定後に人数の変更があった場合、プログラム自体の実施が不可能になるなど、他の参加者へ追加料金が課される場合があります。従って、大学は皆さんがプログラム申請をした時点で参加の意思があるものとして選考を行い、参加決定後の辞退は認められません。申請する際は、事前にプログラム内容をよく確認し、他の予定の調整等の準備を行ってください。なお、プログラム参加決定後(最終選考結果発表後)に辞退せざるを得ない状況が生じた場合は、辞退する学生本人が所定のキャンセル費用を支払う必要があります。

### キャンセル料について

- ・ 参加者の事情により、プログラムへの参加が確定した後に、辞退する学生は、その時点で既に発生した参加者にかかる費用を支払わなければなりません。キャンセル料には、銀行手数料(海外送金手数料等)も含まれます。
- ・ 既にプログラムに要する費用を大学に納入済みの場合、キャンセル料を差し引いた差額を返金します。返金手続きは、派遣先大学から APU への払い戻し等が必要な場合等、一定時間を要します。予めご了承ください。

## 履修登録における注意事項

### 履修可能 / 不可科目について

プログラム参加中のセメスターでは、履修可能な科目と履修ができない科目があります。

プログラム	セメスター	履修可能	履修不可
GCP	2017 春	・ 第 1 クォーター開講科目 ・ 夏セッション科目	・ セメスター開講科目 ・ 第 2 クォーター開講科目

万一、誤って履修不可の科目を登録するなどの問題が判明した場合も、履修削除等の特別配慮は行いません。

### 履修計画について

本プログラムによる履修科目・修得単位数が、卒業までの履修計画において問題がないか、十分に確認してください。プログラム合格後に問題が判明した場合も、履修の特別配慮等を行いませんので、自己責任において、プログラムの応募を行ってください。

### 3 回生演習科目の履修について

第 5 セメスター、第 6 セメスター時にプログラムに参加する場合、3 回生演習科目を履修することは出来ません。但し、3 回生演習科目の登録期間が、プログラム参加決定前に予定されている場合は、演習科目の登録を行ってってください。その場合、プログラム参加決定後、大学が履修登録を削除する必要がありますので、登録した場合はプログラム担当者へお知らせください。

### 英語準上級科目の単位を未修得の場合について

英語準上級 A/B 科目の単位を未修得のまま、米国での実習に参加する場合、以下のセメスターで履修することになります。

Global Communication Program	2017 年度秋セメスターで履修
------------------------------	------------------

---

## 規律事項

---

下記 1.~4.の項目を理解し厳守するために、本人および保証人による誓約書を提出してください。

### 1. 基本姿勢

立命館アジア太平洋大学アクティブ・ラーニングプログラム(以下「プログラム」という。)に参加する学生は、次の点を遵守しなければならない。

- (1) プログラムの目的と主旨を理解し、積極的に真面目な態度で勉学に励まなければならない。
- (2) 立命館アジア太平洋大学(以下「本学」という。)の学生として自覚と誇りを持って、本学および派遣先大学・機関(以下「派遣先」という。)の名誉を傷つける行動は慎まなければならない。
- (3) プログラム期間中は、日本の法令および本学の諸規則の他、派遣先の国・地域の法令および諸規則を遵守し、本学および派遣先の教職員の指示に従わなければならない。

### 2. 健康管理等

- (1) 健康管理は、自らの責任でおこなうこと。
- (2) 渡航前に、本学が指定する海外旅行傷害保険および危機管理支援システム(J-TAS)等へ加入すること。(海外プログラムのみ)
- (3) 既往症等ある場合は、申し出ること。
- (4) 傷病等により入院加療の医療措置が必要となった場合は、すみやかに本学および派遣先に報告するとともに教職員の指示に従うこと。ただし、これらの措置に必要な費用の内、保険の補償限度額超過分については、本人が負担すること。
- (5) 緊急に医療手当または手術の必要が生じ、本人または保証人の同意を得る時間的猶予がない場合は、派遣先の当該担当者の判断によって処置することに同意すること。

### 3. 経費および補償

- (1) プログラムに要する費用(研修料・宿泊費・交通費・保険料等)は、指定の期日までに納入すること。
- (2) 所定の期日後に、本人の傷病、処分等の理由によってプログラムへ参加または継続ができなくなった場合、または辞退した場合には、必要経費(派遣先から本学に請求された必要経費を含む)について負担すること。
- (3) 天災・災害・ストライキ・伝染病・政治情勢の変化・戦争・テロ、その他不可抗力に起因する事態によって、プログラムの中断や内容の変更があった場合、本学および派遣先に損害賠償を要求せず、3.(2)と同様の費用を負担すること。
- (4) 本人の不注意または本学および派遣先が管理できない状況下で、事故、病気または死亡事故が発生した場合、本学および派遣先に対して何等の金銭的またはその他の責任を問わないこと。
- (5) 本人の所有物の盗難や損害、交通事故、刑事事件等、本学および派遣先が管理できない状況下で発生した場合は、本人の責任で対応しなければならないこと。
- (6) 故意または重大な過失により、APUに重大な損害を与えた場合は、必要に応じ賠償の責を負わなければならないこと。
- (7) 本プログラムの実習期間中に、プログラムの当事者(APU、派遣先大学、現地機関)以外の第三者(組織、個人、ホームステイ先等)による不法行為が原因で本人に事故や損害が生じた場合、本人が訴訟やそれに関わる対応等の責任を負わなければならないこと。プログラム当事者(APU、派遣先大学、現地機関)はその責任を負わないこと。

### 4. 入国・帰国 (海外プログラムのみ)

- (1) 本プログラム実施期間前に個人で入国してはならない。
- (2) 本プログラム実施期間終了後は、速やかに帰国しなければならない。派遣先国の滞在期間延長は、認められない。

---

## 奨学金

---

### 日本学生支援機構(JASSO) 留学生交流支援制度 奨学金

詳細が決まり次第お知らせします。以下は平成 27 年度分の要綱です。(参考)

申請条件	本学における学業成績が優秀で人物等に優れている者、かつ前年度 1 年間の成績評価係数(JASSO が定める算出方法)が 2.30 以上であること。 [前年度の成績がない場合は下記の通り] 2. 現在 2 セメスター学生は、前セメスターの成績によって算出する。 3. 現在 3 セメスター学生は、原則前年度の成績によって算出する。 [成績評価係数の算出方法] $(A + \text{おおよび } A \text{ の単位数} \times 3) + (B \text{ の単位数} \times 2) + (C \text{ の単位数} \times 1) + (F \text{ の単位数} \times 0) \div \text{総登録単位数}$ 4. 日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者 5. 派遣プログラム参加にあたり、他団体等から派遣プログラム参加のための奨学金を受ける場合、他団体等からの奨学金の支給月額が本制度による支給金額を超えない者 6. 派遣先大学所在国・地域への派遣プログラム参加に必要な査証を確実に取得し得る者 7. 派遣プログラム終了後、本学へ戻り学業を継続する者 8. 奨学金の受給枠には限りがあります。申請条件を満たし、受給資格があると確認された方には、合格発表時に個人伝言にて連絡します。
申請書類	奨学金受給に際し、受給希望理由書及び世帯所得情報等を提出して頂く必要があります。詳細は合格発表時にお知らせします。
支給期間	2017 年 6 月～7 月
支給金額	1 ヶ月 8 万円 - 合計 16 万円 (予定)
備考	給付型 (返金不要)

---

## その他

---

### ・ 個人情報の取扱いについて

派遣に関わる調整・手続きを進める上で、第三者(派遣先大学・機関、旅行代理店、保険会社、大使館、領事館、外務省等)に対して個人情報を提供することがあります。提供する情報には、氏名、性別、国籍、Eメールアドレス、生年月日、パスポート番号などがあります。

- ・ **奨学金について**

奨学金が支給される場合は、合格者対象の「受講者ガイダンス」にてお知らせします。

- ・ **姿勢**

プログラムでの経験が有益なものになるかどうかは、参加者自身の姿勢や努力が大きく左右します。海外で異文化を受け入れる柔軟性や積極的な学習姿勢を持つことが必要です。各自でプログラムの参加目的をしっかりと定めてください。なお、派遣前後に行う事前・事後授業やガイダンスへの出席は必須です。無断欠席は認めません。その他、書類や課題などの提出期日は必ず守ってください。

また、プログラム参加中は大学が定めたルールを守らなければなりません。大学が定めたルールとは、上記「規律事項」「プログラムに参加するにあたっての遵守事項(誓約書)」の他、飲酒、自動車・バイク運転、レジャースポーツの禁止等があります。詳しくは、参加決定後のガイダンスで説明を行います。

**宿泊**

- ・ 大学が指定する施設・ホームステイ先以外での宿泊は認めません。
- ・ 滞在先それぞれの規則や生活習慣に従ってください。
- ・ 寮の場合、一部屋を個人で利用する場合や2名以上の複数で共有する場合など施設の状況によって異なります。

---

**グローバル・コミュニケーション・プログラムに関する問い合わせ先**

---

- ・ アカデミック・オフィス B 棟 1 階
- ・ TEL 0977-78-1101 / FAX: 0977-78-1102
- ・ 担当者: アカデミック・オフィス GCP 担当

---

## 募集プログラム と スケジュール

---

プログラム名称	Global Communication Program (GCP)																							
派遣先大学	St. Edward's University (アメリカ、テキサス州オースティン)																							
現地実習期間	2017年6月3日(土)～7月29日(土)																							
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>SEU が開講する「Public Speaking」「Critical Thinking」「Multicultural Society in the US-A」「Multicultural Society in the US-B」「Service Learning」の5科目10単位の教養科目を履修し、コミュニケーション力・多文化理解力の形成・強化を目指す。</li> </ul>																							
申請条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>2017年度春semesterにおいて2回生もしくは3回生の日本語基準学生</li> <li>英語中級 A/B 修得済または TOEFL ITP500 点相当の英語力を有する者(いずれも目安)</li> <li>通算 GPA2.50 以上(目安)</li> </ul>																							
求める学生像/プログラムのメインターゲット	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的意識と自己成長に熱意を持ち、心身ともに健康である者</li> <li>プログラムの目的を良く理解し、各種ガイダンス、事前授業、現地での授業やプログラム、事後授業、eポートフォリオ、TOEFL ITP, TOEIC(IP)受験等に、熱意を持って、全て参加できる者</li> <li>選ばれた学生としての自覚を持ち、前向きに努力をし、プログラムでの経験を自己成長と社会に活かすことができる者。また、プログラム参加後に、様々な活動支援(プログラム広報、SEU ほか留学生に対するバディ活動、プログラム効果の調査への協力など)に参加できる者</li> <li>英語力の向上、異文化理解への意欲が高く、また、様々な文化的・宗教的背景を持つ人々を尊重し、他の学生から学び合う姿勢を持つ者</li> <li>APU 及び SEU の学則および教職員の指導に従うことができる者</li> </ul>																							
プログラムの流れ	2017 春semester (2017 年 4～5 月)	APU にて事前授業																						
	2017 春semester 第 2 クォーター期間 (2017 年 6～7 月 約 2 ヶ月間)	SEU にて授業、フィールドワーク (昨年度実施例)																						
		<table border="1"> <tr> <td>月曜</td> <td>AM</td> <td>Public Speaking &amp; Critical Thinking 授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>PM</td> <td>Multicultural Society in US 授業</td> </tr> <tr> <td>火曜</td> <td>PM</td> <td>Service Learning 講義・実習</td> </tr> <tr> <td>水曜</td> <td>AM</td> <td>Public Speaking &amp; Critical Thinking 授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>PM</td> <td>Multicultural Society in US 授業</td> </tr> <tr> <td>木曜</td> <td>PM</td> <td>Service Learning 講義・実習</td> </tr> <tr> <td>金曜</td> <td>AM</td> <td>Public Speaking &amp; Critical Thinking 授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>PM</td> <td>Multicultural Society in US 授業</td> </tr> </table>	月曜	AM	Public Speaking & Critical Thinking 授業		PM	Multicultural Society in US 授業	火曜	PM	Service Learning 講義・実習	水曜	AM	Public Speaking & Critical Thinking 授業		PM	Multicultural Society in US 授業	木曜	PM	Service Learning 講義・実習	金曜	AM	Public Speaking & Critical Thinking 授業	
月曜	AM	Public Speaking & Critical Thinking 授業																						
	PM	Multicultural Society in US 授業																						
火曜	PM	Service Learning 講義・実習																						
水曜	AM	Public Speaking & Critical Thinking 授業																						
	PM	Multicultural Society in US 授業																						
木曜	PM	Service Learning 講義・実習																						
金曜	AM	Public Speaking & Critical Thinking 授業																						
	PM	Multicultural Society in US 授業																						
2017 秋semester(2017 年 10 月～12 月)	APU にて事後授業(月 1 回ペース)																							
科目名称/成績(予定)	科目名称・単位数	特殊講義 (共通教養科目) 2 単位																						
	評価	通常の評価(A+, A, B, C, F)																						
	成績証明書には右記の通り記載される。	特殊講義 (共通教養科目)2 単位 特殊講義 (共通教養科目)2 単位 特殊講義 (共通教養科目)2 単位 特殊講義 (共通教養科目)2 単位 (4 科目で合計 8 単位)																						
	科目名称・単位数	ボランティア研究 2 単位																						
	評価	通常の評価(A+, A, B, C, F)																						
	成績証明書には右記の通り記載される。	ボランティア研究 2 単位																						
		<ul style="list-style-type: none"> <li>合計単位数 10 単位</li> <li>semester の登録可能単位数の上限内</li> <li>上記取得単位は、2017 年春semester 科目として大学が自動登録</li> </ul>																						
担当教員	カッティング美紀准教授 (教育開発・学修支援センター)																							

費用	<p><b>【プログラムに要する費用】</b>  <b>約 55 万円</b>          上記プログラムに要する費用には以下を含む;-</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 渡航費・交通費</li> <li>・ 海外旅行保険(J-TAS 含)費</li> <li>・ 実習費</li> <li>・ SEU 寮滞在費</li> <li>・ 教材費</li> <li>・ TOEFL/ITP、IDI 受験料 (プログラム前後 2 回受験予定)</li> <li>・ その他雑費</li> </ul>
	<p><b>【別途支払いが必要なもの】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食費</li> <li>・ 現地授業テキスト代(あれば)</li> <li>・ ビザ(ESTA)取得費用</li> <li>・ 個人の通信費</li> <li>・ 予防接種費用(任意)</li> <li>・ 娯楽費(土産代含む)など上記プログラム参加費以外にかかる経費</li> </ul>
	<p><b>【NOTE】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上記「プログラムに要する費用」は 2016 年 11 月時点の概算(目安)。</li> <li>・ プログラム費の支払いは、2017 年 4 月頃となる見込みです。</li> <li>・ 「プログラムに要する費用」は日本円で APU への支払いとなります。</li> <li>・ APU の学費は、プログラム費とは別途通常通りの納入が必要です。</li> <li>・ 万一プログラム参加決定後に、やむを得ず参加辞退する場合、キャンセル料の支払いが発生する可能性があります。詳しくは、「参加条件」欄、「3. 免責事項・注意事項」、「プログラム参加決定後(最終選考結果発表後)の辞退について」、及び「キャンセル料について」をご参照ください。</li> </ul>
宿泊形態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SEU が指定する学生寮 それ以外での宿泊は認めません。</li> <li>・ 基本プログラム参加生とのルームシェアになりますが、シングル、トリプルなど施設の状況によって異なります。</li> </ul>
募集人数	20 名 (最少催行人数 15 名)

### 【GCP】

日程	内容
2016 年	
11/16 (水) 第 4 限	募集ガイダンス (1 回目) (場所 F111)
11/16 (水) ~ 12/21(水)	募集期間
12/ 2 (金) 第 3 限	募集ガイダンス (2 回目) (場所 F111)
12/ 5 (月) 第 3 限	募集ガイダンス (3 回目) (場所 F111)
12/ 6 (火) 第 5 限	募集ガイダンス (4 回目) (場所 F111)
2017 年	
1/10 (火) - 1/13 (金)	選考面接
1/17 (火)	可否発表
1/18 (水)	受講者ガイダンス 1 (科目概要、予防接種等)
4 月 12 日(水)~5 月 24 日(水) 予定	GCP 事前授業
4 月中旬	受講者ガイダンス 2 (ビザ・保険等)
~ 4 月末	プログラム費及び海外旅行保険(J-TAS 含)費支払い
5 月上旬	危機管理授業
6 月 3 日(土)	日本出発 (同日現地着)
7 月 28 日(金)	現地出発 (翌 7/29 日本着)
7 月 30 日(日)~8 月 3 日(木)	夏セッション期間
9 月中旬	成績発表
10 月~12 月	APU にて事後授業

上記以外にも各種ガイダンスが行われる場合があります。詳しくは参加決定後に案内します。